

富岡地域づくり 協議会だより



第20号

令和元年10月20日

広報委員会

<http://www.town-tomioka.click/>

富岡各地区で夏祭りが開催されました

令和になって初の夏祭りが、この7・8月に行われました・それぞれの地区が、地域の実情に応じ、神輿・出店・和太鼓・山車・お囃子等々の工夫された催しを行っています。庭先や玄関先に提灯や灯籠等を飾るなどして、地区全体で祭りを盛り上げようとしている所もあります。地域住民の更なる親睦を図る等の目途を掲げるものもあります。

今回は、「北田」と「ネオポリス」のふたつの地区の夏祭りを取り上げることにしました。両地区より原稿と写真をいただいていますので、ご紹介します。

◆北田夏祭りについて



昔、北田夏祭りは、宝泉寺の境内を借りて行っていたが、手狭になり暫くの間行われていなかった。

平成18年に他の地区の自治会から鉄骨の檣を貰い受けることになり、北田夏祭りを再び行う機運が高まった。場所は富岡公民館の第3駐車場をお借りすることができ、そのお礼として駐車場の草木の剪定作業を北田自治会有志で夏祭りの前に毎年行っている。

今年で14回目を迎え、毎年400人以上参加する賑わいで盛大に行われている。

北田太鼓として、子供たちが太鼓を叩き、踊りを盛り上げている。模擬店も多く出て、飲物とお摘みも豊富で大勢の人にゆっくりくつろいでもらっている。

最後に、抽選くじで多くの景品をだして楽しんでいただいている。



◆48年の歴史をもつ「所沢ネオポリス夏祭り」



今から48年前、ネオポリスに住むようになった先輩方が、この新しい街には、鎮守様もお祭りもないことを心配し憂えた。ここで育っていく子供たちが、将来大人となって独立していくときに、少しでもネオポリスの思い出となるように「お祭り」を作ろうということで、スタートした。

第40回にあたる年、平成23年は、東日本大震災の影響で夏祭り中止の自治会が多い中でも、明るく前向きに「がんばろう！日本」を目標に実施した。

第48回目の本年は、昨年に続き「悪天候による中

止」も心配されたが、青年部をはじめとして100名以上の協力委員の元、今回から、日本アンテナ跡地住民（グランシア85戸）の参加、山車ルート短縮、新リズムの盆踊り等、新しい取り組みも行いました。将来祭りの担い手となる子供たちも大勢参加した盛大な夏祭りとなりました。



夏祭り写真館



くぬぎ山オータムコンサート



秋の雑木林で聴くフルート&ギターの調べ」が2018年11月18日(日)くぬぎ山の林の中で開催されました。13回目となる屋外のコンサートですが、今回は「富岡地域づくり協議会 地域環境部会」も協力をした他、「ショッパー」・「読売新聞」などが記事にしてくれたこともあって、参加者は148名とこれまでの2倍以上になりました。

10月の台風で手作りのステージが倒壊してしまったことに加えて、高いところで枝が折れて引っかかったままになっていたり、枝葉が散乱していたりで、残念ながら林の中を散策してもらうことはできませんでした。

そのような状況ではありましたが、秋のくぬぎ山の雑木林で世界に誇る所沢の村松フルートの音色をフルート：平田公弘さん・ギター：石村洋さんの演奏で充分堪能することができたと思います。

なお、平田さんが勤務していた村松フルート製作所は所沢市美原町に本社工場があり、世界のプロフルーティストの8割が村松フルートを持っているという調査もあります。

又、村松フルートにはTOKOROZAWAという刻印が入っています。

今年は、11月24日(日)に・清水裕太・廣原武流さんによる津軽三味線の演奏を行います。

多数の方の参加をお待ちしております。

<編集後記>

「野老」と「海老」

「ところ」と「えび」で、結婚式等の縁起のいい催事に出されるご馳走の盛り合わせのひとつだそうです。両方とも「老」の字がついていて、未永く寄り添うの意だということです。

ところで、この「野老」とは、湿地帯で採れる芋の一種だそうです。ユリ目ヤマノイモ科ヤマノイモ属の植物で、江戸時代にはオニドコロ(または、ヒメドコロ)の栽培品種のエドコロが栽培されていました。所沢市は、かつて野老澤と称し、これが市の名前の由来のひとつにもなっているともいわれています。

この野老の栽培は難しく、のちには殆ど栽培されなくなったため、里芋がこれに代わって皿にのるようになったとのこと。ものの本で読んだ記憶があるのですが、果たして……。正しきをご存知の方は、ご示唆いただきたいと思います。

このように、日本には昔から「縁起物」といわれるものが数多くあります。五穀豊穰・大漁追福・商売繁盛・家内安全・無病息災・子孫繁栄・招福祈願・厄除祈念・安寧長寿・夫婦円満などに関わるものです。

だるま、熊手、招き猫、七福神、宝船、神輿、門松、お守り、鯛、茶柱 等々

ご存知のものばかりではないでしょうか。日本古来のもので、今でもつづいているものが多いことに気づきます。素直に受け入れつつ、縁起をかつぐのもいいかと思えます。

ただし、「野老」のように、変化していくものもあるかもしれません。日本特有の梅雨という時期を受け入れつつ、日本独特の季節感を味わってみるのもいかがでしょうか。